

① 肉 体
② 歩 み
③ 新 米

④ 夕 食
⑤ 強 大

② 1 こ ん ち ゆ う

2 木
3 羊 の 腸

4 A ウ
B イ
5 松 の

6 な く て は な
7 I 2
II 1

③ 1 A ア
B エ
C イ

2 カ シ ャ ン ニ シ ャ ン グ
3 フ ツ ー

4 成 績 の こ と
5 公 共 心

6 ア
7 タ コ

配 点	
①	各2点× 5 = 10点
②~③	各5点× 18 = 90点
＜計＞100点	

1 小学校2年生までに学習する漢字から出題している。①「肉体」は生身の体。「肉」を「内」にしたり、「体」を「休」にしたりしないようにしよう。②「歩」の訓読みは「ある(く)」と「あゆ(む)」の二つである。どちらも「歩く」という意味を表すが、「進展する」という意味では「あゆ(む)」を使う。③「新米」は仕事を始めてからまだ日数が少なく、なれていない人のこと。もちろん文字通り「新しい米」という意味もある。④「夕食」は夕方に取る食事。晩ご飯。⑤「強大」は文字通り強く大きいこと。「キョウダイ」というカタカナだけを見て「兄弟」などと書かないように気をつけよう。

2

- 1 この一行目は文章の見出しとなる問いかけである。本文の終わりのあたりに、「バイオリンに住んでいる『こんちゅう』の答えを説明しましょう」とある。これは一行目の問いかけのことを言っているのである。「すんでいる(住んでいる)」ということばにも注目したい。
- 2 バイオリンをよく知っていれば、答えが思い浮かんだかもしれないが、きちんと本文から答えを見つけよう。本文の終わりのあたりに、「バイオリンは木でできているのなら」というところが出てくる。
- 3 まずバイオリンの弦について「むかしは『ガット弦』とよばれ、羊の腸でできていました」とある。さらに「テニスのラケットの弦も羊の腸でできていたので、今も『ガット』とよびますね」とあるのだから、この二つを結びつけて「羊の腸」という意味が導き出せる。
- 4 Aは、前に「むかしは」とあり、あとに「今では」とあるので、むかしと今の弦のちがいを説明するつながりになっている。こういう場合は「でも」などの逆接でつなぐ。Bは、最初の問いかけの「こんちゅう」の話にもどすところなので、話題を変える「さて」がはいる。
- 5 松脂の説明はあとに続いて書かれている。設問に用意された()のあとに「をカチカチにかためたもの」と書かれているのをヒントにしよう。本文にも「これを、カチカチにかためたものを使います」とあるので、ここでの「これ」が指しているものを答えることがわかる。松脂自体は「松の木から出る、ネバネバした樹液」だが、弓の毛に塗るものはそれを「カチカチにかためたもの」である。
- 6 設問の意味がわかりにくいかもしれないが、用意された()の前後を見よう。「バイオリンにとって」をヒントにする。「魂柱」の説明は本文最後の三行にしかないの、そこをよく見よう。「この楽器にとつて、なくてはならない大切なもの」という説明がある。「この楽器」はバイオリンなので、設問の文とほぼ同じ形になっている。「魂」には「それなしではそのものがないくらい大事なもの」という意味があり、たとえば「刀は武士の魂」などという使い方をする。
- 7 I カプトムシは樹液にはかかわるが、バイオリンと直接の関係はない。
II 「そのままだと、すべてしまつて音が出ないので、『松脂』というものを塗ります」とあった。

3

- 1 Aは物音を立てて何かしているという意味で「ゴソゴソ話す」と表現している。Bはひどくおこられたことを表す「さんざん」がはいる。Cはあとの「つづいた」に合う「えんえん」がはいる。BとCは微妙だが、Cの「つづいた」に注目するとCが「えんえん」のほうがよいだろう。「えんえん」は非常に長く続くさまのことである。ちなみに、この「えんえん(延々)」を「永遠」と間違える人が多くなっている。
- 2 ママからカンニングの話聞いたパパが言っている。
- 3 前に「わたしの成績、うーんとわるいほうじゃないけど、もちろんクラスで一番とか二番というわけじゃない」とあり、あとには「それじゃ、へール5」だったってじまんしているママには、お気にめさないわけだ……とある。つまり、成績がよかったママからすると、「フツの成績」では「お気にめさない」ということである。空さんの直前に「これまた」とあるのもヒントで、前に「フツ」ということばが出てきていることを示している。
- 4 陽子が「成績のこと？」ときいたことに対して「うん、それもあるけど」とママが返答したことからわかる。
- 5 先生に言われたことがショックだったのである。設問に用意された文から、陽子にたりないと言われたことが答えになるとわかる。

- 6 最後の二行から陽子の気持ちを正しくイメージしよう。何度も聞いたのもう聞きたくないという気持ちが感じられる。
- 7 「耳にタコができる」とは同じことを何度も聞かされていやになること。問6とも結びつけてほしい。